

# 修徳橋

令和5年9月12日 No.10



市川三郷町立六郷小学校 学校だより

市川三郷町岩間 2917

電話：0556-32-2004

<http://www.rokugo-sho.ed.jp/>

発行・文責 校長 上田寛二

## 六郷小学校の学力・学習状況をお知らせします

今年度も全国学力・学習状況調査が、4月18日(火)に全国の小中学校で一斉に実施されました。小学校では6年生が参加し、本校でも真剣に調査に取り組みました。例年通り、7月末の31日に結果が発表され、8月1日の新聞に全国と山梨の傾向が掲載されました。今年度は国語と算数のみ実施の年でした(中学校は3年に一度の英語が実施されました)。この調査は、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることと、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的としています。本校でもすぐに調査結果の分析を行い、8月の校内研究会と9月の職員会議で確認し、その結果を活用して、全校で2学期から指導改善に取り組みを始めています。

この度、まとめた分析結果の概要を学校だよりとして、保護者の皆様にお知らせするとともに、地域への回覧を行います。なお、調査に参加しました6年生一人一人には、個別懇談等を利用して、具体的な課題等について説明していきます。

## 分析結果の概要と六郷小学校の取り組み

※ 六郷小の平均正答率は、国語・算数ともに全国平均と概ね同等でした。全国平均を算数が若干上回り、国語が若干下回る結果でした。

### 1 調査問題から見る本校の主な課題

#### 《国語》

- ＜良くできていたもの＞ ……漢字を文の中で正しく使う(期間)
  - ・送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使う(比べる)
- ＜あまりできなかったもの＞ ……図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する
  - ・漢字を文の中で正しく使う(意外)
  - ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる

#### 【課題】

- 原因と結果など情報と情報との関係や図などによる語句と語句との関係について理解し使う力
- 目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめる力
- 文章を読んで、理解したことに基づいて自分の考えをまとめる力
- 漢字を正しく使うこと

#### 【国語における主な改善点】

- 大事な言葉や文に印を付いたり、矢印を書き込んだりしながら情報と情報を結びつけ、整理しながら読むようにする。
  - ・どのような図表やグラフを用いるとよいか、それぞれの特徴などを児童と一緒に確認したり、図表から読み取れる情報を一緒に確認したりする。
- 話を聞くときに、メモをとる習慣を身につけさせる。
  - ・大事なことを聞き落とさないよう、全てをメモするのではなく、メモのポイントをみんなで確認する。
- 新聞などの短い文章を読んで、要約し、感想をまとめる。
  - ・他者にわかるようにまとめることが難しい場合もあるので、理解したことと考えたこととの関係がわかるように型をつくる。また、書くことの学習では、友達と助言し合いながら、自分の書いた文章を何度も見直したり、書き直したりできるようにする。
- 漢字のもつ意味を考えて使う習慣を身につくようにする。
  - ・特に同音異義語に注意する。文の中の意味に合うよう、文作りなどで練習する。

#### 《算数》

- ＜良くできていたもの＞ ……伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いる
  - ・一の位が0の二つの2位数について、乗法の計算をすることができる

- ・台形の意味や性質について理解している
- <あまりできなかったもの>・・・正三角形の意味や性質について理解している
  - ・高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する
  - ・(2位数) ÷ (1位数) の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考える

#### 【課題】

- 正三角形の意味や性質について理解すること。
- 高さが等しい三角形について底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること。
- 二次元の表から、条件に合う数を読み取ること。

#### 【算数における主な改善点】

- 答えの根拠や理由となることを省かずに記述させたり、教師から問うたりする。
  - ・途中の式を書かせる。式の意味を問う。
  - ・文章にない数を使うときの式やその理由を書かせる。
  - ・表の見方がわからない児童もいるので、表の見方や示されている数値の確認を全体で確認する。
- 公式や答えを導き出す過程を明らかにさせる。
  - ・公式を言葉で覚えさせるのではなく、意味を理解させる(図や言葉と関連させる)。
  - ・実際に紙を切るなどの作業を通して考える活動をする。
- 既習を使うことを意識させる。
  - ・児童が自ら既習を使うようになるには時間がかかる。課題解決にあたって、どんな既習が使えるかを確認した上で、どう使うかを考えさせていく。
- 系統性を大切に、その学年で身につけることは定着させたい。

これまで、記述式の問題に課題がありましたが、今回、算数では全国平均を上回りました。正答条件を満たしていないものがありますが、無回答率は国語・算数とも低く、何とか自分の考えを書こうとしています。日頃の成果だと思われます。しかし、資料が多いため、問題の意味を理解し、適切に資料を見て、条件に合った答え方ができていない傾向があります。問題に印をつけながら読む、書いた後に条件を満たしているか確認をするなど、粘り強く問題に向き合うことが大切で、取り組みを進めていきます。

## 2 質問紙調査から明らかになった本校児童の特徴と改善点

\*自己評価が高めである(自分にはよいところがあると思いますか?)

自己評価の高い児童が多い。その一方で、できていないことに向き合えていない児童もいる。課題に向き合えるように、これからも丁寧に指導をしていく。

\*いじめは、いけないことだと思っている(いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思えますか?)

これからも、いじめの未然防止に努める。些細なことにもしっかり向き合うなかで、いじめはいけないという気持ちを更に醸成していく。

\*学校が楽しくない児童が数名いる(学校に行くのは楽しいですか?)

ほとんどの児童は、学校に楽しく来ているが、友達関係や学習することに対して不満をもつ児童も数人いる。友達関係に気をつけながら、学習や学校行事を通して成功体験を積み重ね、自己肯定感を高められるように指導していく。

\*国語より算数に苦手意識がある(国語の勉強は好きですか?国語の授業はよくわかりますか?)  
(算数の勉強は好きですか?算数の授業はよくわかりますか?)

この調査の結果では、国語より算数ができていた。児童の意識は違うということがわかった。「できた」「わかった」と思える授業改善に、これからも取り組んでいく。

## 3 まとめ<今後の取組へ向けて >

この調査で明らかになったことは、他教科や他学年にも通じることだと捉えています。課題を共有して他学年での指導にも活かしていきます。全学年で全教科を通じて、改善を進めていきます。また、一人一人の児童の学力・学習状況に応じた学習指導の改善・充実に向けて取り組んでいきます。そのためにも、児童が自主的に家庭学習に取り組むことができるような働きかけを続けていきます。各ご家庭におかれましても、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。